

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 38

学校名・団体名	飯山市立木島小学校
HPアドレス	http://www.iiyama-catv.ne.jp/~kijima/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	響け！コカリナ～音色で心をつなげよう～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>長野オリンピックを機に広まったコカリナという楽器を知り、演奏方法を身につけ、いろいろな曲の演奏を楽しみ、音楽のアンサンブルを通じて、子どもたちの心のアンサンブルを育てていく。コカリナ演奏を聴いていただいて、演奏することと聴いていただくことを楽しみ、さらに発表の方法を工夫し、地域の方との交流を深めていく。</p>	

1 活動時期と内容

コカリナは、1998年の長野オリンピックの時に、長野県出身の音楽家黒坂黒太郎氏によって、制作・演奏された楽器です。その後、日本全国に広まり、現在では多くの愛好家によって演奏されています。小学校では、1年生で鍵盤ハーモニカ、3年生からはリコーダーを習いますが、これらの楽器に比べて、コカリナは小さくて持ち運びやすく、演奏しやすいという利点があります。また、木だけでできた楽器であることから、音色が優しく、子どもたちは演奏しながら安らいだ気持ちになります。コカリナ学習を通して、演奏することを楽しんだり、さまざまな曲に触れたり、聴いていただくことで交流をしたりする活動が広がっていくだろうと考えられます。



子どもの手にぴったりの大きさのソプラノコカリナ

5月16日(火) コカリナとの出会い～コカリナ制作体験と演奏指導～

山ノ内町在住のコカリナ制作者大熊信幸さんとコカリナ指導者大熊二三子さんを招いて、コカリナの制作体験と音階指導をしていただきました。子どもたちは、初めて見る楽器に興味を持ち、音階がわかるとさっそく「かえるの合唱」や「メリーさんのひつじ」など、簡単な曲に取り組みました。

翌日から、朝の会の時間に5分ずつ練習を始めました。だんだん演奏できる楽曲が増えていくにつれて、友達と一緒に演奏したり、学級で音をそろえて演奏したりすることを楽しみにしていました。



コカリナとの初めての出会い～大熊先生と～

6月6日(火) 初めてのコカリナ演奏～ふるさと遠足 高社山～

教室の窓から見えている地域のシンボルの山「高社山」へのふるさと遠足がありました。1352mの山頂に全員で登頂したあと、全員でコカリナ演奏をしました。眼下に自分たちの住む飯山市木島地区を見ながら「ふるさと」を吹き、自分たちの地域への思いをはせることができました。



学校から見える高社山の山頂でコカリナ演奏

6月17日(土) 校内音楽会でコカリナを地域へ

コカリナ練習を始めて、1か月でしたが、校内音楽会で「ふるさと」を演奏しました。今回は2部合奏で、黒坂さんの編曲バージョンを取り入れた少し難しい曲です。来場された保護者の方や地域の方たちからは「コカリナっていい音色ですね。」「コカリナは心が一つになった演奏で美しかったです。」「コカリナがみんな上手でびっくりしました。」と感想をいただきました。コカリナ指導をしていただいた大熊信幸さんからは「よく短い時間でこんな演奏ができたね。音が澄んでいて、小学生の演奏とは思えないほど、柔らかくていい音が出ていたよ。」とほめていただきました。子どもたちはコカリナを演奏できたことと、その演奏が聴いていただいた方の心に届いたことで、さらにコカリナへの関心を高めていました。



校内音楽会で、全校や地域の皆さんへ初お披露目

7月24日(月) 1学期の学習の成果として

1学期の終業式の発表では、1学期の学習の成果として、コカリナについて発表しました。コカリナ学習を通して知った、コカリナの成立や制作・演奏者の黒坂黒太郎さんの紹介などをしました。

9月9日(土) コカリナ愛好者との交流

～コカリナフェスティバルに参加～

山ノ内町で行われたコカリナフェスティバルに参加。希望者の参加のため、バスを手配せず、保護者の方に送迎していただきました。参加した子どもたちは、初めてのフェスティバルで、黒坂黒太郎さんの演奏を実際に聴き、その音色の美しさや、全国から集まっているコカリナ愛好家で作ったサークルの発表に聴き入っていました。



山ノ内町志賀高原で他校の小学生といっしょに、コカリナ演奏で交流

10月5日(木) 平和への祈り～飯山市戦没者・開拓殉難者追悼平和式典でのコカリナ演奏～

飯山市では、毎年10月に「飯山市戦没者・開拓殉難者追悼平和式典」が行われています。遺族の方たちや関係する方が集まって、命を落とされた方たちを悼み、平和への祈りを捧げます。式典の中では、平和へのメッセージとして、遺族代表の方、平和学習で広島へ派遣された5名の中学生、満蒙開拓団の学習をした4名の中学生が写真を見せながら発表しました。5年生では、難しい話題ながら、戦争や平和について考える機会を得ました。

そのあと、平和への賛歌として、市内の小学校3校が平和への祈りを込めて、歌や呼びかけなどのステージ発表をしました。今回木島小学校5年生は、二部合唱「今日から明日へ」とコカリナ奏「アメージンググレイス」を演奏しました。遺族代表の方からの言葉として「あのコカリナの演奏を聴いて、涙が止まりませんでした。感動しました。」というものがありませんでした。子どもたちにとっても、貴重な経験になりました。



飯山市文化交流館なちゅらで、平和への祈りを込めて、アメージンググレイスをコカリナで演奏

1月29日(月) コカリナコンサート

コカリナ制作・演奏者の黒坂黒太郎さんを招いて、コカリナコンサートを行いました。これまでに、黒坂さんが長野オリンピックを契機に日本でのコカリナ制作を始めたきっかけや、コカリナへの思いをまとめたDVDや、新聞記事などからコカリナについての学習を進めてきました。

今回、黒坂黒太郎さんと矢口周美さんをお招きして生の演奏やお話を聞くことで、さらにコカリナへの理解が深まり、今後の自分たちの活動の可能性が見えてくるのではないかと考えました。

当日は、木島小学校全校136名や地域のボランティアの方7名が参加して、コンサートが開かれました。5年生は、事前に会場づくりやステージ装飾などを手掛けました。東日本大震災の奇跡の一本松や広島の被爆樹などで作られたコカリナの紹介や演奏、自然環境や平和などを願うお話など、心温まるコンサートでした。

コンサートのあと、教室で、5年生のコカリナ演奏を聞いていただき、今日のコンサートについてお話をさせていただき時間をとりました。子どもたちが、用意してきた質問をして、温かく答えていただき、子どもたちはコカリナがますます好きになっているようでした。

2 成果

- (1) コカリナの楽曲が増えるにつれ、演奏することに喜びをもち楽しく活動することができた。
- (2) さらに地域の方からの励ましの言葉で、コカリナ演奏の良さを感じることができた。
- (3) さまざまな場での活動により、来年度以降自分たちの活動の可能性を考えることができた。

全員で「アメージングピース」を合唱

～飯山市木島小で黒坂黒太郎さんコンサート～

奇跡の一本松・原爆樹のコカリナで



児童も一緒に歌って沸いたコカリナコンサート

先月29日、飯山市の木島小学校(平野弘蔵校長)で、黒坂黒太郎さんのコカリナコンサートが開かれた。黒坂さんは1949年、長野県上田市生まれ。フオ

イクシガールとして全国各地を巡り、地球環境や暮らしをテーマにした歌を歌い

つ木特有の柔らかな音色で、

た」と感想を述べた。

続ける一方で、東欧ハンガリーの楽器コカリナに魅せられ、コカリナ演奏の第一人者としても活躍。木匠とともにコカリナを楽器として精度の高いものに完成させた。同小学校では5年生が今年度コカリナを学習する中で、宮下直美教諭が働きかけ、公益財団法人ちゅうでん教育振興財団の、第17回ちゅうでん教育振興助成金を活用し、今回のコンサートが実現した。黒坂さんはボーカルやオートハープで、コンサートに帯同する妻の矢口周美さんとともに拍手で迎えられ「飯山の雪の多さにビックリしているがきょうは演奏を皆さんと一緒に楽しみたい」と話し、コカリナの音色、矢口さんの歌声がとてもしきれいですが、かつ

スコットランドやハンガリーの伝統的な曲などを演奏した。また、2011年の東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の、奇跡の一本松から作られたコカリナや、広島原爆樹から作られたコカリナで平和を願い、「世界中の友だちに平和を」という意味を込めて、最後は全員で楽しく振り付けなども取り入れながら黒坂さんの作った「広場と僕らと青空」を合唱した。同校5年生の山崎梧陵さんは「黒坂さんのコカリナの音色、矢口さんの歌声がとてもしきれいですが、かつ